

Wood First とSDGs



ものづくり大学 建設学科 戸田研究室の学生さん(左前、右前)、技能工芸学部建設学科 戸田准教授(左上)、柵徳スタッフ澤木(右上) ポーズは「L-innovation Project」の「L」を表しています。

ものづくり大学 × 柵徳コラボプロジェクト

柵徳は埼玉県産木材をおすすめしております。
県産材を家づくりに使用していただくと、地球温暖化防止や、緑豊かな森林づくりに貢献できます。
今号では、県産材が持続可能な社会につながるということについて、ご紹介いたします。

柵徳スタッフが選ぶ「私が好きな埼玉県のお薦めスポット」VoL 034

「埼玉から国や時代もひとつ飛び!?!」編

埼玉県内にある、非日常なひとときを味わえる場所をご存知でしょうか? アメリカン50'sカルチャーが感じられる場所、まるで古き良き日本へタイムスリップしたかのような場所をご紹介します。

営業チーム チームリーダー
諸井 俊洋



ジョンソン・タウン

埼玉県入間市東町 1-6-1

板貼りの白壁に三角屋根の住宅などが並び、星条旗がはためく「ジョンソンタウン」。近くにあるジョンソン基地(現航空自衛隊入間基地)が名前の由来。当時進駐軍のための住宅が建築され、米国の田舎町の趣を色濃くした文化が残る。今ではおしゃれなカフェや雑貨のお店などが立ち並び、もちろん住むこともできる。テラスでコーヒーを飲みながら、異国情緒溢れるひとときを過ごすはいかがでしょうか。



セツ梅酒造跡

埼玉県深谷市深谷町 9-12

新しい一万円札の顔となる渋沢栄一の生まれ故郷としても、今注目されているエリアです。セツ梅酒造跡は、1694(元禄7)年にこの地に創業し、300年以上続いた歴史ある酒造の跡地。江戸時代を代表する銘酒「セツ梅」を作っていたことから、この名前がつけました。全国で唯一の作り酒屋を改装した映画館「深谷シネマ」もあり、映画を楽しむことも。

柵徳は創業明治38年、木と共に1世紀

経営理念・より良い住環境をつくり手と共に住まい手へ...

人々の暮らしの中で木は常に人と密接した存在として必要不可欠なものです。目には見えない様々な場所で形を変え、人々の暮らしを支えています。家も木が形を変え、生活に密着しているもののひとつです。寝食を共にする家族の中で共有する最も身近な存在といえるでしょう。私たちは木を通じて、より良い環境を目指して前進する皆様の全力で応援することに日々精進を怠らず皆様と共に歩み続けます。



■会社名の由来

創業者初代星野徳次郎が浦和にあった柵屋という材木商で修行した後、大宮で店を出すにあたって、修行した店の屋号と本名の一字を合わせて「柵徳」としたものです。



www.masutoku.jp

■本社

〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-697
TEL:048(658)5600 FAX:048(658)5605 e-mail:masutoku@masutoku.jp

■大宮営業所

〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-697
TEL:048(658)5600 FAX:048(658)5605

■伊奈配送センター

〒362-0811 埼玉県北足立郡伊奈町西小針6-127
TEL:048(729)2000 FAX:048(729)2001

特集

植える、育てる、収穫する、上手に使う。 Wood Firstと 今話題のSDGs。

濱タクが「埼玉県産木材」の魅力を伝えます！

県産材の魅力と今後の目標



県産材の魅力は、ずばり「地産地消」にあると考えています。お施主様と、埼玉県で林業・木材産業を営む方との距離が縮まります。更に、林業の活性化・森林の健康保持にも繋がります。樹徳に入社して3年目になり、伊奈倉庫に在庫、入出荷する木材を始め、木で作られた棚や床、壁材などを目にするようになりました。これらは建築現場に納品され、回転し続けています。このことから、私たちの暮らしに木は欠かせないものだと感じるようになりました。

まだまだ知識不足な私ですが、商品や業界の情報が多く入ってくることは、販売店である樹徳の強みです。それを生かしながら、「県産材を使って頂く」という選択肢を与えられるようになりたいです。

埼玉県産木材の使用が、SDGs(エスディージーズ)に繋がります。

SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標とは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標と169のターゲットです。2015年9月、SDGsの前身であるMDGs(ミレニアム開発目標)を継承し、国連で採択されました。気候変動、貧困問題やエネルギーなど、2030年までに達成すべきビジョンや課題が網羅されています。

県産材を使用すると、輸送にかかるCO2排出を減らす、埼玉県の森林や林業を守ることができるなど、SDGsに貢献することができます。樹徳も今後SDGsに力を入れていきます。是非一緒に取り組んでいきましょう！

SDGsの軸である17の目標。

- ① 貧困をなくそう
- ② 飢餓をゼロに
- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ⑧ 働きがいも経済成長も
- ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう

- ⑩ 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ つくる責任つかう責任
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさを守ろう
- ⑯ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナリーシップで目標を達成しよう



みんなで使おう、埼玉の木

さいたま県産木材を使って新築(購入・増改築する住宅・事務所・店舗に、1㎡あたり17,000円又は1㎡あたり3,000円が補助されます(最大34万円)。

樹徳は、さいたま県産木材認証事業体に登録しています。令和2年度は6月1日から受付開始予定です。是非お施主様へ県産木材をおすすめされてみてはいかがでしょうか。詳しくは樹徳までお問い合わせください。

そして今回は、樹徳と協業している東京新宿木材の吉田さんよりメッセージを頂戴いたしましたので、ご紹介いたします。

東京新宿木材鶴ヶ島木材部所長 吉田さんより

生きている限り、木と人間は切り離すことができません。木を使い、生かすことが得意な工務店様、その木を流通させる樹徳さん・私ども材木市場も、環境に配慮した仕事をしていることになると思います。

木材業界に勤めて32年となりますが、時代は常に変化し、勉強し続けても足ることがないと感じております。工務店様には、樹徳さんを通じてお世話になっている立場ではありますが、今後も共に住宅業界を盛り上げていければ幸いです。

東京新宿木材市場株式会社：東京と埼玉に木材市場、センターとして3事業所を有し、全国各地の木材生産者等より集荷した各種製材品・建築資材を、材木店へ販売している。



県産材も多くご用命頂いております。



県産材の壁板です。



営業部 濱拓也

ステイホームを楽しく過ごすために、ウクレレを弾きながら家でひとり歌うのが最近のマイブームです。また、家で簡単にできる柔軟や器具を使わない筋トレで健康維持にも励んでいます。

ものづくり大学×樹徳 コラボプロジェクト!

PLInnovation Project

少子高齢化が進み、建設業や林業でも後継者の減少、また、空き家・空き倉庫の増加が問題視されています。

そこで、樹徳伊奈配送センターを、主に県産材で木質化し、山間部と都市部の住民や工務店さんとの連携を促そうと始まったプロジェクトです。地域住民にとっても、樹徳が木材(Lumber)を学ぶ(Learn)場となり、暮らし(Lifestyle)の一部となる革新的(Innovation)なリノベーションです。

ものづくり大学建設学科戸田研究室の学生さんによって、木をふんだんに使用した温かな雰囲気のある倉庫・オフィスに生まれ変わる予定です。乞うご期待!



倉庫の木質化イメージパース



学生さん作ロゴ。□トク×トダ=□トダ



倉庫の内観模型



外は人が集まる賑やかな広場に



戸田研究室の皆さんと打合せ

編集後記

「木の家は第二の森林」と言うそうですね。木は、住宅や木製品になっても二酸化炭素を吸収し、酸素を放出し続け、森林と同じ役割を果たすことができます。木の家をたくさん建てることで、地球温暖化防止に繋がっているなんて、住産業に携わる者として、誇らしく思います。それが県産材であれば、更にSDGsに貢献できますね。

余談ですが、樹徳社員のネームプレートは県産材でできています。ぜひ注目してみてくださいね!

横森雅子